

粉末X線回折装置 RINT2500 利用規定

- 利用する研究室は、毎年4月に利用代表者を登録すること。利用代表者は利用経験のある院生であれば学生でも構わないが、装置を実際に使う人を登録すること。また利用代表者は、同研究室の全ての利用について責任を持って監督すること。
- 各研究室に一月当たりの利用時間の上限などは特に定めない。しかし、混雑している時期などに他の研究室から苦情があった場合、利用時間を制限することがある。
- 料金は利用時間に対し課すものとする（1時間当たり 700-800 円）。また装置部品等の故障により、高額のコストが発生した場合には、使用時間に応じて修理費の一部を分担していただく可能性もある。
- 装置予約は、サイボーズ予約システムを利用する。
- 装置利用後には、利用記録票を記載する。使用記録には必ず使用前と使用後にメーターの値を記入し、ファイルに閉じること。
- 使用時は常にフィルムバッジを携帯し、被爆に関しては細心の注意を払うこと。
- X線を発生させる時は、必ずエージング（20 kV, 10 mA）を 15～20 分程度行うこと。
- 使用後には周辺の後片付けを徹底すること。
- トラブルが発生した場合には放置せず、すぐに中井研究室（内線 5782）まで報告すること。
- 多目的直熱高温試料台や微小部回折計を利用したい場合には、前もって中井研究室まで連絡をすること。
- ワークステーションを起動してデータの処理や取り出しを行うだけならば、特に予約は必要ない。ただし、他の研究室が利用している時間帯には控えること。